

帯広市立西小学校 学校便り

あぜみち



西小HP

学校と家庭と地域を結ぶ確かな道を目指し!

【令和6年度 経営基本姿勢】

すべては子どもたちのために!

Rethink ほめて、認めて
励まし、伸ばす

【児童の合言葉】

ひとみキラキラ 心ころワクワク
からだスクスク うごきキビキビ

令和6年12月2日 第848号(No.16)

校長 坂本そのえ

西小学校 開校記念日 12月1日

本校は12月1日で126歳になりました。当初は帯広尋常小学校伏古分校として明治31年7月9日に設立認可され、12月1日に児童44名で開校されました。開校以来、3度にわたる校舎の移転、合併・統合・分離、5度の校名変更を経て今に至ります。この間、巣立っていった卒業生は6371名になります。なかには親子3代にわたって西小で学んでいる家族の方もいらっしゃいます。今後も「すべては子どもたちのために!」の教育理念のもと、これからの時代を創る担い手を育てる教育活動を行っていきます。引き続き、保護者・地域の皆様の変わらぬご協力をよろしくお願いいたします。



季節によってキツツキやエゾリスを見ることができます。

中庭のハルニレの木は開校100周年の際に寄贈・植樹されました。多目的室の名称(ハルニレルーム)に使われるなど、西小のシンボルツリーとなり、子どもたちの学校生活を見守っています。



校章



真理の探求を象徴するペンを三方にあしらい、学びの無限性と生涯にわたって学び続けようという願いを表している。

中央には稲と麦の穂を描き、豊かな自然に抱かれてきた西小を表した。

いつまでも母校を愛し、ふるさとに思いを寄せる人間に育ててほしいと願うものである。



校旗



開校100周年記念を期に新たな校旗を協賛事業のひとつとして制作した。

西小学校旗としては2代目の旗である。

金刺繍であしらわれた校章は重厚かつ荘厳な輝きで、新たな世紀へと語り継がれるに違いない。

校章デザイン：大貫 正雄氏

1948(昭和23)年の開校50周年に作成
図案の一部を開校100周年時に修正



平成30年開校120周年記念誌より

携帯スマホ教室

11月19日(火)に3年生と5年生で実施しました。ゲームや動画視聴の時間が長いと脳にどのような影響があるのか、どうしてやめられなくなるのか等、脳科学の視点やホルモンなど体の仕組みからわかりやすく説明がありました。

特に脳の病気である「ゲーム障害」の話には、「えー!!」と驚きながら聞いていました。ゲームをしている時、脳はほとんど使われておらずドーパミンによって快楽を得ているからやめられなくなることや、睡眠している間にその日に学習したことを脳は復習をしているから少なくとも8時間は睡眠が必要なこと、音読することが脳にとってとてもよいことを聞いて、ハツとしている子もたくさんいました。家で長時間勉強していなくてもゲームの時間が少ない子は成績がよい場合が多いとのデータも示されました。ゲームや動画視聴の時間などについてきまりのない家庭や、きまりはあるが守られていない子がいましたが、3・5年生はこの学習の後、ご家庭で話題になったのでしょうか。

これからの季節は外で遊ぶ機会が減り、家の中で過ごす時間が多くなります。子どもたちの自己管理能力が未発達なのは当然です。私たち大人がしっかりと見守り、ゲームや動画視聴から離れる時間を確保してあげることが大切です。家庭と学校で連携しながら子どもたちへの言葉掛けをしていけたらと考えます。



冬道教室

「危ない!」普段は見通しのよい交差点が、冬になると雪山で車が見えなくなる!

11月26日(火)に1・2年生で実施した冬道教室では、雪山で車が見えなくなる体験を通して、冬道を安全に歩く学習をしました。

安全に歩くためには、何に気を付けたらよいのか説明を聞いた後、信号機のある横断歩道や横断歩道のない交差点、雪山で車が見えない道路など、体育館に準備された道を実際に歩きながら教えてもらいました。

今年も悲しい交通事故のニュースが報道されています。登下校の見守りにPTA サポーターとしてご協力いただきありがとうございます。歩道のない道もたくさんありますので、子どもたちには安全な道路の歩き方を身に付けてほしいと思います。



西小っ子の活躍

☆2024 第13回 U-8 フットサルリーグ
西帯広大空 FC

大谷理人・岡田つむぎ・小里勇輝・川原杏奈
川原柚生・岸田蒼平・澤野瞬斗・田口 稜
松田颯空・山角竜聖・山下珠央 (以上2年)

